



1 ソリッド塗色（キャビン想定）

No.	工 程	作 業 要 領	作 業 の ポ イ ン ト
1	脱脂・清掃 	脱脂剤／ウエスにて塗装面を充分に脱脂。	脱脂剤を充分に除去する。
2	カラーベース 	①捨て塗り：1回 ②色決め（仕上げ塗り）：2～3回 12～15秒／IHS／20℃ (カラーベース) (硬化剤) (シンナー) 100 + 20 + 淡彩系～中彩系 (538ハイソリッド ホワイトWR) 5～20 (531ホワイト) 30～50 濃彩系 30～70	・ガン距離15～20cm程度で塗装。 ・スケのないように塗り込む。 ・塗り重ねのタイミングは指触乾燥にて行う。 （塗装間隔の目安は10分～15分） ・塗り肌を見ながらパターン重ねを調整する。 ・塗り継ぎ部はオーバーラップをさせて塗装する。
3	乾燥 	セッティング：10～20分 20℃／16時間または60℃／30～40分 （屋外放置可能時間）	・ボデー温度をキープ、急激な昇温は避ける。

■ アネスト岩田WIDER1（W-101・W-200）

	エア圧力（手元） （MPa）	吐 出 量 （回転数）	パターン幅	ガン距離 （cm）
ソリッド色 クリアー	0.20～0.25	2.5～3.0	全 開(K-1キャップ) 3回転戻し(K-2キャップ)	15～20



2 メタリック・2コートパール塗色（キャビン想定）

No.	工 程	作 業 要 領	作 業 の ポ イ ン ト
1	脱脂・清掃	脱脂剤／ウエスにて塗装面を充分に脱脂。	脱脂剤を充分に除去する。
2	カラーベース	①捨て塗り：1回 ②色決め（仕上げ塗り）：2～3回 10～12秒／IHS／20℃ (カラーベース) (硬化剤) (シンナー) 100 + 20 + 90～110 ... (A) ③ムラ消し：1～2回 (A) (シンナー) 100 + 30～50	(捨て塗り～色決め) ・ガン距離20～25cm程度で塗装。 ・全体的にツヤが出る程度に塗り込む。 ・塗面を正面から見てうっすら光源が写る程度の塗り込み量 ・塗り重ねのタイミングは指触乾燥にて行う。 ・塗装間隔の目安は5～10分 ・塗りツヤを見ながらパターン重ねを調整する。 ・塗り継ぎ部はオーバーラップさせて塗装する。 <バインダー使用時> ※カラーベースにレタンPGエコフリートバインダーを20～30%添加して下さい。 ※ベース全体量（カラーベース+バインダー）に対して、硬化剤を20%混合して下さい。 ※レタンPGエコフリートバインダーを最大添加量を超えて混入した場合、色一致性・隠蔽性が低下する可能性があります。（最大添加量：30%まで） (ムラ消し) ・ガン距離25～30cm程度。（色決め時よりも5cm程ガン距離を離す） ・薄く均一にツヤが出るように塗装する。 ・塗面を斜めから見てうっすら光源が写る程度の塗り込み量
3	乾燥	セッティング：10～20分	・充分に乾燥させてからクリアーコートを行う。

■ アネスト岩田WIDER1（W-101・W-200）

	エア圧力（手元） （MPa）	吐 出 量 （回転数）	パターン幅	ガン距離 （cm）
メタリック 2コートパール	0.20～0.25	2.5～3.0	全 開(K-1キャップ) 3回転戻し(K-2キャップ)	捨て塗り・色決め： 20～25 ムラ消し：25～30



3 3コートパール塗色（キャビン想定）

No.	工 程	作 業 要 領	作 業 の ポ イ ン ト
1	脱脂・清掃 	脱脂剤／ウエスにて塗装面を充分に脱脂。	脱脂剤を充分に除去する。
2	カラーベース 	①捨て塗り：1回 ②色決め（仕上げ塗り）：2～3回 10～12秒／IHS／20℃ (カラーベース) (硬化剤) (シンナー) 100 + 20 + 30～50	・ガン距離15～20cm程度で塗装。 ・スケのないように塗り込む。 ・塗り重ねのタイミングは指触乾燥にて行う。（塗装間隔の目安は10～15分） ・塗り肌を見ながらパターン重ねを調整する。 ・塗り継ぎ部はオーバーラップさせて塗装する。
3	セッティング	指触乾燥以上	・ 20℃/10～20分。
4	パールベース	・パールベースはレタンPGエコフリートニゴリ用クリアーにレタンPGエコパールリキッドを混合してください。（パールリキッド配合量の上限は40%） ・塗装回数：3回（パール感を確認しながら塗り回数を調整）8～9秒／IHS／20℃ (パールベース) (硬化剤) (シンナー) 100 + 20 + 70～100	・ガン距離25～30cm程度。（メタリックのムラ消し塗装と同様の塗装方法） ・薄く均一にツヤが出るように塗装する。（塗面を斜めから見てうっすら光源が写る程度の塗り込み量） ・塗り継ぎ部はオーバーラップさせて塗装する。 <バインダー使用時> ※パールベースはレタンPGエコフリートバインダーにレタンPGエコパールリキッドを混合して下さい。（パールリキッド配合量の上限は20%） (パールベース) (硬化剤) (シンナー) 100 + 20 + 130～150
5	乾燥 	セッティング：10～20分	・ 充分に乾燥させてからクリアーコートを行う。

■ アネスト岩田WIDER1（W-101・W-200）

	エア圧力（手元） （MPa）	吐 出 量 （回転数）	パターン幅	ガン距離 （cm）
3コートパール	0.20～0.25	2.5～3.0	全 開(K-1キャップ) 3回転戻し(K-2キャップ)	25～30

	シンナータイプ	温 度 (℃)								
		5	10	15	20	25	30	35	40	
硬化剤	エコフリート硬化剤									
	エコフリート硬化剤 速乾型									
シンナー	エコシンナー-5									
	エコシンナー-10									
	エコシンナー-20									
	エコシンナー-30									
	エコシンナー-40									
	エコシンナー-50									

レタンPGエコフリートWRシステム 乾燥時間／可使時間

■ 乾燥時間

	淡彩系 (535・538使用時)		中彩系(531使用時)～濃彩系		メタリック・2コートパール	
	20℃	60℃	20℃	60℃	20℃	60℃
指触乾燥	10～20分	—	10～20分	—	10～20分	—
テープ可能	7時間	30分	6時間	40分	3時間	—
屋外放置可能	16時間	30～40分	16時間	30～40分	16時間	30～40分

■ 可使時間

10℃：4時間以内	20℃：3時間以内	30℃：2時間以内
-----------	-----------	-----------

レタンPGエコフリートWRシステム 塗膜性能表

試験項目	試験結果	試験条件
鏡面光沢度	93	JIS 5600-4-7 (60度)
鉛筆硬度	H	JIS 5600-5-4 擦り傷
付着性	100/100	JIS 5600-5-6 2mm碁盤目
耐衝撃性	50cm	JIS 5600-5-3 デュポン式500g
耐酸性	異常なし	JIS 5600-6-1 (5% H_2SO_4 24時間侵漬)
耐アルカリ性	異常なし	JIS 5600-6-1 (5% NaOH 24時間侵漬)
耐湿性	異常なし	JIS 5600-7-2 (50℃×98%RH 120時間)
促進対候性	光沢保持率90%以上	キセノンウェザーメーター 1000時間

※レタンPGエコフリート ホワイト 膜厚 (40～50μm)

レタンPGエコフリートWRシステム 原色一覧

【着色原色】

色 系	原 色 No.	原 色 名	容 量	
			3.5Kg	16Kg
ホワイト	531	ホワイト	○	○
	535	ハイソリッドホワイト	○	○
	538	ハイソリッドホワイトWR	○	○
ブラック	400	ディープブラック	○	○
	582	チンチングブラック	○	○
ブルー	365	ファストブルー	○	○
	621	オリエンタルブルー	○	—
	622	ナチュラルブルー	○	—
	638	ディープブルー	○	—
	664	ネビュラブルー	○	○
	671	プレシャスブルー	○	○
	672	ラピスブルー	○	○
バイオレット	626	レディッシュバイオレット	○	○
レッド	333	ブライトレッドコンク	○	○
	339	ハイソリッドレッドWR	○	○
	594	ニューインディアンレッド	○	○
	609	ローヤルレッド	○	—
	613	エンリッチマルーン	○	—
	620	ストロングレッド	○	○
	634	ディープレッド	○	—
	635	ディープマルーン	○	○
	665	クリムズンレッド	○	○
	680	ライブレッド	○	○
	691	ニューライブオレンジ	○	○
ブラウン	554	エクセルブラウン	○	—
グリーン	607	サニーグリーン	○	—
	618	ディープグリーン	○	○
	674	ニューファストグリーンWR	○	○
エロー	361	オキサイドエロー	○	○
	500	ハイシールエローWR	○	○
	565	ゴールドエロー	○	—
	631	レバノンエロー	○	○
	648	ブライトエローHS	○	○
	663	パールエロー	—	○

【特殊原色】

色 系	原 色 No.	原 色 名	容 量	
			3.5Kg	16Kg
特殊	679	オパールホワイト	○	—
特殊	003	スカシコントロール剤	○	—

メタリック原色/パール原色 一覧

【メタリック原色】

塗 料 種	原 色 No.	原 色 名	容 量	
			3.5kg	16kg
メタリックベース	101	メタリック細目	○	○
	109	メタリック粗目	○	○
	111	メタリックホワイト	○	○
	123	メタリックニューメークホワイト	○	○
	124	メタリックスノーファイン	○	○
	202	サンメタリック	○	○
	210	サンメタリック極粗目	○	○
	220	ニューサンメタリック	○	○
	253	グランドメタリック	○	○
	254	スターメタリックコンク	○	—
	835	メタリックフラッシュホワイト	○	○
	842	スターダストメタリック	○	○
	843	ファジーメタリック	○	—

【パール原色】

区 分	原 色 No.	製 品 名	容 量 0.3L
パール	—	パール原色各種	○

※製品名は下表を参照ください

パールリキッド製品名			
212	ブロンズ	271	ホワイトクォーツ
213	ファインレッド	272	スーパーグリーン
218	ブラウン	273	スーパーゴールド
242	スーパーファイン	276	ピュアホワイト中目
244	ファインブルー	277	クリスタルホワイト
245	グリーン	280	パシフィックブルー
246	ファイングリーン	282	シャイニーブラウン
247	ブライトホワイト	283	スーパーシャイン
248	レッド	284	ライトブラウン
249	ニューレッド	286	クリスタルブルー
260	ライトゴールド	287	クリスタルレッド
261	パールレッド	288	クリスタルグリーン
262	パールブルー	289	シャイニーレッド
263	ライラック	290	ソフィアパープル
264	レッドブラウン	291	コスミックブルー
266	ブロンズレッド	292	マイクロシルバー
270	サファリブライト	293	ストリームグリーン

ご使用上の注意事項

- 引火性の液体である。
- 有機溶剤中毒の恐れがある。
- 健康に有害な物質を含んでいる。

本品は、人体に有害なイソシアネート系の硬化剤を使用しています。

この中には不純物として毒性の強い低分子イソシアネートが微量含まれています。

従って、塗装にあたっては下記事項について厳重に注意ください。

(1) スプレーミストの吸入による中毒

軽症の場合…不快感・頭痛・セキ・

中症の場合…喉頭炎と同様の症状。

重症の場合…ぜんそく状の気管支ケイレンを伴う発作を起こす。

(2) 皮膚に触れることによる炎症

塗料やスプレーミストが直接皮膚に触れると、赤くはれるなどの炎症をおおすことがあります。

(3) 一度中毒すると再発しやすい

一度中毒したり炎症を起こしたりすると敏感になり再発しやすくなる傾向がありますから注意してください。

気管支炎になりやすい人など呼吸器系が敏感な人や、既往症のある人、皮膚カブレを起こしやすい人、アレルギー体質の人には、作業には従事させないでください。

また、本品には第2種有機溶剤を使用しています。一般に第2種有機溶剤を使用した塗料に共通な危険性と有害物があり、作業環境と取り扱い方法が義務づけられています。安全・衛生に注意し、正しく製品をご使用いただくために、特に下記の事項を守ってください。

製品取扱上の注意事項（安全衛生他）

- 下記の注意事項を守って下さい。
- 詳細な内容については安全データシート（SDS）をご参照ください。

予 防 策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護めがね・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

対 応

- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保 管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

廃 棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）

施工後の安全

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

設備上の注意事項

本品は、第2種有機溶剤を使用していますから「有機溶剤中毒予防規則」や「消防法」などによって、作業場の環境などを下記のようにととのえることが義務づけられています。

- (1) 塗装ブースの制御風速は有機溶剤中毒予防規則に従ってください。
- (2) ブースの排気孔から外部にスプレーミストがもれないようにするために、水洗もしくは布などによるミストの除去装置がつけてあることが必要です。
- 本品などのポリウレタン樹脂塗料では、塗装場周辺へのイソシアネートの飛散を防止するために上記のことが重要です。
 - イソシアネートは水分にあうとただちに反応して毒性が消えますから、人家の密集地ではできるだけ水洗ブースを使うようにしてください。
 - ドライブースの場合は、排気をさらにウォーターシャワーに通せば安全です。
- (3) 塗装作業中は作業場内の換気を十分行い、大気中の有機溶剤濃度が許容濃度以下になるようにしてください。
- (4) 強制乾燥を行う場合は、溶剤の蒸気濃度が爆発限界（溶剤にもよるが容量比で1.1～7%）以下に保たれるように管理してください。
- ジェットヒーターなどの直下加熱方式は、引火の危険が非常に大きいので、使わないでください。
- その他、照明器具、モーター、スイッチなど、スパークの飛ぶおそれのある器具は、必ず防爆形を使ってください。